



江戸時代へ タイムスリップ？

『これ1冊でわかる！ 蔦屋重三郎と江戸文化』

伊藤賀一／Gakken



江戸のメディア王とも称される蔦屋重三郎は、吉原の貧しい庶民の生まれから小さな貸本屋をおこし、「黄表紙本」という挿絵をふんだんに使った本を出版して大人気に。数多くの絵師や作家を世に生み出した彼の波乱万丈の生涯をわかりやすく解説した1冊。

『大江戸 24時 浮世絵で庶民ライフを物見遊山』

堀口菜純／KADOKAWA



浮世絵とは「見ていて浮かれるような、今生きている世の中、人生って悪くないなと思えるような、そんな絵」と解説する著者が、250年前の庶民の暮らしを浮世絵に江戸雑学を加えて紹介。当時の人々も買い物に行き、食事を楽しみ、旅行していたことがわかる1冊。

『お江戸なぞなぞあそび』

杉山亮、藤枝リュウジ／河合楽器製作所



江戸時代の人たちは「鍋の中の白壁土蔵なあに？」そんななぞなぞを知り合いに会うたびにやりあっていたそう。ほかに、当時の人が大好きだったということば遊びを紹介した『お江戸決まり文句』とあわせて読んでほしい1冊。

おはなし会を開催します

～読み聞かせボランティアの皆さんが、
楽しいお話をしてくれます～

【加悦分室】1月11日（土）、2月8日（土） 両日とも午前10時30分～

【本館】1月11日（土）、2月1日（土） 両日とも午前10時30分～

【野田川分室】1月25日（土） 午前10時30分～



【所蔵点検】臨時休館のお知らせ

図書館（全館）は蔵書点検のため、次のとおり臨時休館します。休館中はご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【本館】2月11日（祝）～14日（金）

【野田川分室】2月19日（水）、20日（木）

【加悦分室】2月25日（火）、26日（水）



● 問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451 加悦分室 ☎ 43-0376 野田川分室 ☎ 43-0087

● 開館時間／午前10時～午後6時 ● 休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）



がんばってます！消防団

編集 ● 本部

「火事を出さない、出させない」をスローガンに、団員一丸となり予防活動に努めます。



与謝野町消防団長

あだち てつお
足立 徹生

明けましておめでとうございます。新年をご家族おそろいで健やかに迎えに出来ましたこと、心からお喜び申し上げます。町民の皆様には、日ごろから消防団活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

与謝野町誕生以来「火災ゼロの町・与謝野町」をめざして消防団活動を実施しております。また、昨年は操法年であり8月に行われた京都府消防操法大会では、ポンプ車操法の部で第7分団（三河内）が優勝を果たし、与謝野町代表として大きな使命を果たしてくれました。その節には多くの激励と温かいご支援、ご協

力をいただきましたことに改めて厚くお礼申し上げます。また、10月には予防消防活動として「消防防災フェア」を開催。町民の皆様の防火防災意識の高揚を図ることができたと思っております。

自然災害では台風10号をはじめ全国各地で豪雨が相次ぎ、日本各地に大きな被害をもたらしました。本町では幸いにも大規模な災害は発生していませんが、自然災害はいつどこで起きてもおかしくない状況となっています。日ごろから災害に対する意識を高めていただくとともに、十分な備えをお願いします。

消防団は日夜、消防防災の要として活動しているところですが、社会が大きく変化していく中、自営業の団員が減る一方、会社勤めの団員がその大半を占め、新入団員や屋間の火災などに出勤する団員の確保が難しくなっており、消防団を取り巻く社会的環境は大変厳しい状況にあります。

しかしながら、近年の災害発生現場において多数の消防団員が活躍するなど、その重要性が改めて認識されているのも事実です。本年も消防力の確保とともに、町民の皆様の生命と財産を守り「自分たちの町は自分たちで守る」という消防精神のもと、団員一丸となって更なる努力と精進をして参る所存であります。

町民の皆様のお一層のご理解とご協力をいただきまますよう、重ねてお願い申し上げます。



上／第1分団の小型ポンプ操法
下／第7分団のポンプ車操法

「火災ゼロのまち・与謝野」をめざし、活動してまいります。 与謝野町消防団員 一同